

2008 年度

科目名	対象学科・学年 教育教福3回生	担当者
現代社会と人権（総合講座）		金井 英樹
授業テーマ 現代社会における人権の諸相と私たち		
授業の概要と目標 現代社会には、さまざまな差別・人権侵害の現実が生起しています。部落問題をはじめ、差別の現実を具体的にとりあげてそこから深く学ぶとはどういうことなのか、また、人権を尊重する知の技法を獲得するには何が必要とされるのかを考えていきたいと思います。世界人権宣言 60 周年のいま、私たちの生きる時代を＜人権の世紀＞にするために、ともに学びましょう。		
評価方法 基本的にレポートの成果によって評価します。毎時提出のコミュニケーション・ペーパーも参考にします。		
テキスト 特に指定はしません。適宜レジュメ・資料等を配布します。	著者	出版社
参考書 『部落問題論への招待』第2版 その他、必読文献・参考文献は授業で紹介します。	著者 寺木伸明・野口道彦編	出版社 解放出版社
授業スケジュール・内容 1, はじめに 授業の進め方、レポートについて、意識調査の実施。 2, 現代社会と差別Ⅰ 現代社会と差別の諸相を考える。 3, 現代社会と差別Ⅱ 人権とは何か。 4, 日本社会と部落問題Ⅰ 部落史観の転換とは何か。 5, 日本社会と部落問題Ⅱ 部落の形成史に迫る。 6, 日本社会と部落問題Ⅲ 部落差別の観念性と共同幻想を撃つ。 7, 日本社会と部落問題Ⅳ 貴賤観・浄穢（ケガレ）観・優劣観等々。 8, 日本社会と部落問題Ⅴ 近代の問題としての部落問題。 9, 差別と排外意識Ⅰ 在日コリアンの歴史と現状。 10, 差別と排外意識Ⅱ 「新渡日」の人々の現状。 11, 沖縄とアイヌ 南北の異なる文化圏の歴史と現状。 12, 性差別をめぐる ジェンダーとは何か。男女共同参画社会等。 13, 子どもの人権 子どもの権利と子どもをとりまく状況。 14, 戦争と差別 最大の人権侵害と環境破壊。 15, 多文化共生社会へ 多文化共生とは何か。世界人権宣言から学ぶ。		